

祈りの友 第208号

2026年5月

「天のビジョンに従う」

児童伝道者への神のご計画を理解する

第3章

神よ、どうか子どもたちをあなたが
ご覧になるように見る事ができる
よう助けてください。



サム・ドハティ

「…私は天からの幻に背かず
…」使徒の働き 26章 19節

私たちはまず、神ご自身とその主権を見上げ、神のビジョン（幻）を持たなければ、子どもたちの必要を正しく理解することはできません。神が私たちに与えようとしておられる第一のビジョンは神ご自身、そして第二のビジョンは、子どもたちとその霊的必要を見るビジョンです。

箴言 29章 18節には「幻がなければ民は滅びる」（KJV）とあります。“滅びる”とは、方向を失い、ほしいままにふるまうことを意味します。ここで使われているヘブル語には「裸である」という意味も含まれています。つまり、ビジョンがなければ、人々は深刻な形で苦しむということです。

この節は、神を知らない者たちが啓示を持たないときに抑制を失うという意味にも取れますが、私はこれを信じる者である私たちにも向けられたものだと考えます。私たちがビジョンを持たなければ、その結果を負うのは人々、特に小さな者たち—子どもたちです。私たちにビジョンがなければ、苦しむのは彼らなのです。

子どもたちとその必要を見るビジョン

子どもたちの必要を見て理解しなければ、どうして彼らを助けることができるで

しょうか。子どもに関わる多くの人々の中には、子どもたちが抱える深い霊的必要を十分に見ていない人がいます。ビジョンとは、これまで見えなかったもの、他の人がまだ理解していないものを見る力です。ここで言っているのは、身体的・教育的・精神的・社会的・心理的な必要ではありません。もちろんそれらも満たされなくてはなりません、ここで強調しているのは、もっと深刻な霊的必要です。霊的必要は、主イエス・キリストの御人格とその御業の中においてのみ満たされます。子どもたちは、罪に満ちた世界で生き抜くための力や助けだけを必要としているわけではありません。また、混乱した世界で安全や人生の目的、また心の平安を得ることだけが必要なのでもありません。彼らが最も必要としているのは、この迷いと罪に満ちた世から“救われること”です。

神のことばが示す子どもたちの霊的状态を理解する

子どもたちは：

- 霊的に死んでおり、いのちを必要としている（エペソ 2:1,5）
- 罪の性質を持ち、変えられる必要がある（詩篇 51:5、エペソ 2:3）
- 神の御国の外にいて、新しく生まれなければならない（Ⅱコリント 5:17）
- 立場上、失われた状態にある（マタイ 18:11-13）
- 自分の罪とキリストがそのために死なれたことを知りながら神を拒む年齢に達している場合、そのまま死ねば永遠に失われる（ヨハネ 3:36）

私たちはしばしば、子どもを「無邪気な存在」「すでに神の御国に属している者」と考えがちです。そのため、子どもたちを死んだ存在、神の王国から外れた罪深い失われた存在と考えることは、非常に異質で困難なことです。実際、このような教え

に強く反対する人さえいるでしょう。しかし、これは神のことばが明確に教えている真理です。私たちはこれらの真実を見なければ、子どもの必要を真に聖書的な視点で理解することはできません。この真理を理解するとき、私たちは子どもたちが本当に必要としている助けを与える立場に立つことができます。私たちの目はしばしば閉ざされているので、こう祈る必要があります。

「ああ神さま、どうか子どもたちの深い霊的必要性、そして彼らが永遠に失われる可能性を見ることができるよう助けてください。」このビジョンが与えられるとき、私たちの心は救い主の心のように憐れみで動かされ、福音を携えて子どもたちに向かう者となります。

主イエスはこう語られました。「このように、この小さい者たちの一人が滅びることは、天におられるあなたがたの父のみこころではありません」(マタイ 18:14)。また、「人の子は、失われた者を救うために来たのです」(18:11)とも言われました。さらに主は、道に迷った一匹の羊(子ども)を捜し求める羊飼(主イエスさま)のたとえを語り、迷い出た者を見つけ出すまで追い求めるご自身の心を示されました(18:12-13)。このお方に仕える私たちは、主の「下で働く見倣い羊飼」として、子どもたちの霊的必要性を理解し、彼らを捜し求める者であるべきです。そうするとき、偉大で良い羊飼である主イエス・キリストによって、子どもたちの霊的必要性は満たされていきます。

この世が子どもたちにしていることを理解する

現代の子どもたちが生きる世界は、私たちが育った時代とは大きく異なります。彼らは、私たちが全く経験したことのないプレッシャーや誘惑に直面していま

す。悪魔はかつてない方法で子どもたちを攻撃し、滅ぼそうとしているように思えてなりません。

今日の子どもたちは、薬物、犯罪、暴力、ポルノ、誤った教え、オカルト、アルコール、有害な映像など、実に多くの恐ろしいものにさらされています。これらに対する唯一の解決策、そして唯一の防衛は、イエス・キリストとその救いです。主は子どもたちを救い、強め、この世の誘惑と悪に打ち勝つ力を与えることができます。

しかし、その前にまず、子どもたちはイエス・キリストを自分の主、救い主として信じ受け入れなければなりません。では、彼らが主について知らなければ、どうして信じることができるでしょうか(ローマ 10:14-15)。

また、「良い知らせを伝える者の足はなんと美しいことか」(ローマ 10:15)とありますが、遣わされる相手の必要を意識していなければ、誰もその“良き知らせ”を携えて行こうとはしません。

だからこそ、あなたも私も、子どもたちの必要について明確なビジョンを持つ必要があるのです。

- 神のことばが語る子どもたちの霊的状态
- この世が子どもたちにしていること

このビジョンが与えられるとき、私たちは子どもたちを助けるために実際に行動する備えができていると言えるでしょう。

祈り

「ああ神よ、子どもたちの必要—その深い霊的必要性—を見ることができるようにならせてください。そして、その必要を満たすために、私が何かをできるように助けてください。」

(CEF 書籍ミニストーリー創設者・1997年著)

CEF は働き人を募集しています。

日本CEF (日本児童福音伝道協会) 〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

TEL 0299(28)2031 Email: japancef@cef.or.jp WEB: <https://www.cefjapan.com>

ゆうちょ銀行口座: 00160-1-59313 他金融機関から: 〇一九(セ) 〇(円) 〇(分) 〇(秒) 店 (019) 当座 0059313